

令和元年度 第1回 成田市立図書館協議会 会議概要

1 開催日時

令和元年7月17日(水) 午後2時～午後3時30分

2 開催場所

成田市赤坂1-1-3
成田市立図書館 2階集会室

3 出席者

(委員)

野村委員、半田委員、京増委員、日暮委員、森屋委員、軸屋委員、伏木委員、
長谷川委員、宮下委員、小川委員

(事務局)

関川教育長、石毛教育部担当次長、田中図書館長、巻嶋館長補佐、濱田主幹、
大隅主幹、加野資料係長、米田奉仕係長、堀越主査

4 議題

- (1) 平成30年度図書館事業報告について
- (2) 平成30年度決算報告について
- (3) 令和元年度図書館事業計画について
- (4) 令和元年度予算について
- (5) これからの図書館を考える連続講座について
- (6) その他

会議に先立ち、関川教育長から各委員に委嘱状の交付を行った後、委員長及び副委員長の選任が行われ、委員長に野村委員、副委員長に半田委員が選出された。

5 議事(要旨) 議長：野村委員長

- 議題(1)「平成30年度図書館事業報告について」及び議題(2)「平成30年度決算報告について」事務局から説明を行い、承認を得た。

【委員からの意見・質問等】

委員：障がい者サービスについて、障がい者は図書の宅配は無料になるのか。

事務局：成田市立図書館は郵便局より録音図書を無料で発受することができる施設として許可を受けている。

委員：利用者が昨年度より1万人の減となっているが、原因は何か。図書館として危機的なものは感じているか。

事務局：県内の他の図書館も近年は利用者数が落ち込んでいる傾向にある。平成30年度は、システム更新による長期の休館期間があり、通常より開館日数が少なかったことを考慮すると、横ばいか、やや減と捉えている。

- 議題（3）「令和元年度図書館事業計画について」及び議題（4）「令和元年度予算について」事務局から説明し、承認を得た。

【委員からの意見・質問等】

- 委員：視聴覚サービスセンターが廃止されたということだが、視聴覚機材の貸出しは今後どうなるのか。
- 事務局：機材・教材については、今後、2年間の間に関連機関に移管するよう調整していく。その調整期間中は図書館で引き続き貸出しを行う。
- 委員長：展示について、文章を書いたとき「文責〇〇」とあるように、展示コーナーについても「〇〇が展示しました」と表示して展示に対する意見を書いてもらうようにしている図書館があった。それが展示した人のいいモチベーションになっているという話を伺った。一つの方法論として考えてみたらどうか。これは意見として。
- 委員：一人一人視点が違うので「この本はここがおもしろい」とかコメントがあったらいいと思う。
- 委員：図書館の人の視点で「ここがおもしろい」とかあったら利用者が増えると思う。
- 事務局：展示については、書架にあるだけでは目立たないので、時事等に合わせ展示することによって、いろんな資料を紹介できればと頑張っているところであるが、意見を書いてもらうとフィードバックに対してのフィードバックをどのようにしていけば良いか悩むところではある。
- 委員長：その図書館では会話形式になっていた。司書から「ここがおもしろかった読んでみて」と書いてあって、読んだ人が本を返す時に感想を書いていた。前に読んだ人が、次に読みたい人の気持ちを持ち上げてくれることもあるので、会話ができると良いと思う。司書のスキルをみんなが受け取れるような工夫をしてみたらどうか。
- 事務局：前向きに考えていきたい。
- 委員：保育園や幼稚園児向けのブックリストはあるか。
- 事務局：0・1歳児向け、2・3歳児向け、小学生向けのものを作成している。ちょうど抜けているのが4・5歳児向けのものであるが、今年度中の作成を予定している。

- 議題（5）「これからの図書館を考える連続講座について」事務局から成田市立図書館開館35周年記念 連続講座（全3回）の内容を説明し、意見・感想をいただいた。

【委員からの意見・感想等】

- 委員：全3回出席したが、第1回目の講演会では、自分の描く未来とは違っていた。ただ漠然と「未来の」と言われても・・何もないところからつくり出していくには、中心になる人がいて意見があったらいつでも言えるように窓口を作っておくことが良いのではないかと感じた。2回目のワークショップでは、初めての方と歩きながらいろんな話ができただけは良かった。
- 委員長：いろいろな年代の者がくると、図書館に対しての発想法も違う。今までの考え方が正しいのか正しくないかを含めて、いろんな意見が聞けたのは、

これからの足がかりができたのではないか。1回目はつかみづらかった。2回目・3回目のワークショップに参加すると、こういうことを求めているのか、というのが少し見えてきた程度。焦らずに、講座のまとめをたたき台にしながら次のステップをどうしていくのかがこれからのテーマなのかな、と思う。図書館利用者が自然に参加できる方法論があると思う。利用者が帰るとき、私はこうだよ、と意見を書いて貼れる場所があれば、いろんな意向が見えてくると思う。会話ができる図書館になれば確実に変わっていきけると思う。

- 議題（6）「その他」として、委員から質問を受け、事務局からは開館から35年が経過した施設の状況や課題点などについて報告を行った。

【委員からの質問・事務局からの報告】

委員：本を借りて読んでいると、破けていたり落書きが書いてあるときがある。悪意はないと思うが、その時の対応はどうしているか。

事務局：返却の際には、検本といってページをめくり破損や汚れがないか調べているが100%ではない。もし発見した場合には声かけして確認はしているが、図書館の場合、館内で自由に閲覧できるため、例えば落書きがあったのは、いつだれがやったかの特定が難しい。

事務局：図書館本館は開館から35年が経過し、老朽化が進んでいる。平成22年度に劣化状況等を調査し、改修計画を策定した。その後、順次、改修工事を実施してきたが、未改修の照明設備、空調設備、給排水設備等は老朽化が進展している。特に空調設備については、温度調整が難しい状態で心配がでてきたため、今後の改修計画を具体的に検討する必要があると考えている。改修工事を行う際には、一定期間の休館が必要となるため、その間の図書館サービスをどのようにするのかということも併せて考える必要がある。また、施設の老朽化以外では、公民館との共用駐車場から図書館へのアプローチがバリアフリー化に対応できていないという課題がある。

- その他として、事務局より今後の主な行事予定について説明を行った。

6 傍 聴

傍聴者 1人

7 次回開催日時（予定）

令和2年1月下旬から2月上旬